

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について

1. 授業計画書（シラバス）の作成・公表に係る取組の概要

教育課程編成委員会の実施（年2回）

カリキュラム編成会議の実施（年2回以上）

上記2つの会議を踏まえて年間授業計画を確定し、シラバス作成時期は2～3月上旬に実施し、公表時期は3月末とする。

【作成過程】

各授業科目については、年2回開催している業界関係者、有識者および学園職員で構成する教育課程編成委員会の意見を十分に生かし、学内のカリキュラム作成委員会により教育課程の作成を行い、授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業科目の担当者が作成している。

シラバスは以下の5項目から成る。

- (1) 科目名・開講年次・授業時数・単位数・種類・分類・授業方法・担当教員
- (2) 講義主要目標及び講義概要
- (3) 講義・演習項目
- (4) テキスト
- (5) 成績評価

シラバス作成の際には、次の点に留意すること。

(1) について

「授業時数」と「単位数」との関係については、20時数につき1単位とする。

「種類」は、科目の内容に応じて「一般科目」または「専門科目」と記入する。

「分類」は、「必修」または「選択必修」と記入する。

「授業方法」は、科目の内容に応じ「講義」または「演習」と記入する。

ただし、講義と演習を併用して行う場合には、主になる方を記入する。

「担当教員」は、「本学教員」または「実務経験のある教員」と記入する。

(2) について

学生に何を修得させるのか明確にすること。また、それをどのように実現していくのか、その方向性を示すこと。

(3) について

(2)で示した方向性をどのような内容で具体化してゆくのか、項目を立てて記入すること。

(4) について

授業で使用するテキストやプリント等を記入すること。

(5) について

テスト等、成績評価の対象となるものを記入すること。

2. 授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- ・単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考查の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- ・科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試験を受けることができる。ただし、補講は出席時数が授業時数の2分の1に達した者に実施する。
- ・前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は、再試験を受けることができる。

- ・成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- ・合格者の成績評価割合は、成績最上位の10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- ・合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。

3. GPA の設定・公表に係る取組の概要

- ・学期末に上記の成績評価方法の成績評価に基づき、秀・優・良・可・不可の評価を行う。

- ・上記の評価に基づき GPA を算定する。

(算定方法)

①1 単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0 とする。

$$\begin{aligned} \text{②} & \text{秀 } (4.0 \times \text{取得単位数}) + \text{優 } (3.0 \times \text{取得単位数}) + \text{良 } (2.0 \times \text{取得単位数}) + \text{可 } (1.0 \times \text{取得単位数}) \\ & = \text{GPA 換算数} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{③} & \text{GPA 換算数} \div \text{総履修単位数} \text{ (不可の履修単位数を含む)} \\ & = \text{個人の GPA} \text{ (小数点 3 位を四捨五入)} \end{aligned}$$

(実施時期)

前期（4月から9月）、後期（10月から3月）の2回実施し、3月末に年間 GPA を学務システム上で算定する。

4. 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

(1) 進級基準

進級するために必要な単位数を、次のとおりとする。

鉄道・トラベル学科		46 単位
スポーツ学科	競技スポーツコース	39 単位
	パーソナルトレーナーコース	40 単位
	フィットネストレーナーコース	40 単位
	アスリート公務員コース	39 単位

(2) 卒業の認定方針

各学科とも、修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を取得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定する。

鉄道・トラベル学科	旅行・ホテル・鉄道業界において業務を行う上で必要な知識および技能とビジネスに関する正しい知識を身につける。
スポーツ学科	スポーツ業界において運動指導や販売業務を行う上で必要な知識と実技およびビジネスに関する正しい知識を身につける。

(3) 卒業単位

卒業するために必要な単位数を、次のとおりとする。

鉄道・トラベル学科		86 単位
スポーツ学科	競技スポーツコース	76 単位

パーソナルトレーナーコース	80 単位
フィットネストレーナーコース	80 単位
アスリート公務員コース	80 単位

(4) 卒業判定会議を卒業年次の 2 月末に実施する。